

2023年度 授業改善アンケート第1Q「教員コメント（学生に対するフィードバック）」

講義名	期間名	氏名	学生自由意見記述
人間と哲学	1 Q	遠藤 均	ただ漫然と生きるのではなく、しっかりとした哲学（みずからの価値観）をもって生きてほしいと願っています。そのために、この授業内容は、在学中はもとより、就活および就職後においても、必ず役立つと信じています。
日本の歴史	1 Q	及川 琢英	授業内容を見直し、より良いものに改善していきたい。
基礎英語Ⅰ (SDA-1)	1 Q	西崎 毅	「授業満足度」は、「満足した」以上が97%、「熟意」は、「そう思う」以上が100%、「教材の適切さ」は、「適切だった」以上が97%でした。「分からない所をそのままにする事が出来ないくらい、質問しやすい授業でした。内容も分かりやすい上、面白く工夫されていて、毎週月曜と水曜が楽しみになっていました。」「先生が面白い事と先生のまとめ方が簡潔であり、みやすく、何度も同じことを繰り返して覚えられるようにするという授業はとてもわかりやすく頭に粘着するなど思い良かったと思いました。」「解説が丁寧でわかりやすかったことと、疑問があっても授業のなかですぐ聞ける態勢がとられていたのがわかりやすかったと思います。」等の評価を励みに一層の改善に努めます。
基礎英語Ⅰ (SDA-2)	1 Q	宮嶋 達也	授業改善アンケートの回答者が少なく、1年生で初めてだったこともあり、もう少し丁寧に告知をするべきであった。
基礎英語Ⅰ (SDA-3)	1 Q	横田 肇	全般的に予想より低評価のパーセンテージがやや多く、今後の工夫と改善へ向けて努めたい。ただ、いつものことであるが、高評価と低評価が混在し、焦点の合わせ方が少し困難である。理解度と満足度が例年より少し低いので、低評価の部分への対処が中心になると思うが。
基礎英語Ⅰ (SDA-4)	1 Q	井坂 肇	授業の理解度、満足度は概ね良好であった。特に英語が苦手な生徒にとって分かりやすいという声があり良かった。声の大きさ、授業の進度に注意して授業を展開した成果が出ていた。。今年度から教科書を変更し、書き込み式の授業を展開したため、学生は自分で理解度を確認しながら講義を受けることが出来た。
基礎英語Ⅰ (SDA-5)	1 Q	岡島 徳昭	学生がより積極的に授業に参加できるよう工夫したい。（プリント配布・小テストの実施等）
ソーシャルワークの基盤と専門職 (M)	1 Q	櫻井 美帆子	社会福祉の超入門という点を意識し、なるべくシンプルに授業をするを意識していたつもりです。その旨を理解してくれる方が多くてうれしいです。
ソーシャルワークの基盤と専門職 (S)	1 Q	櫻井 美帆子	社会福祉の超入門という点を意識し、なるべくシンプルに授業をするを意識していたつもりです。その旨を理解してくれる方が多くてうれしいです。
社会保障Ⅰ	1 Q	星野 秀治	社会保障の総論で、抽象的なテーマが多く、理解が大変だったと思いますが、よくついてきてくれました。声の聞き取りやすさや声質についての注文がありました。マイク音量を調整するなどの対応をしたいと思います。またPowerPointも、フォントで強調するなどして、白黒でも理解しやすいハンドアウトにできないか工夫してみます。
医学概論	1 Q	宮嶋 剛司	学生の個性や理解度に適切に対応した講義を行うべきであったと感じています。今後は、各学生のニーズと興味に合わせた指導を提供し、定期的なフィードバックと評価を通じて、学生の理解を深める努力をします。具体的には、授業中に質問を投げかけたり、小テストや課題を設定したりすることで、学生一人ひとりの理解度を把握します。このようなアプローチにより、教育の質を向上させ、学生の学びの成功を支援するための環境を提供することと致します。
障害者福祉	1 Q	畠山 明子	アンケートへの回答ありがとうございました。教科書の活用については、予・復習を行うにあたり指示をしていましたがうまく伝わっていなかったかもしれず、今後の改善点としたいと思います。授業中の私語については、個々の授業だけでなく全体の検討課題として対応が必要と考えています。
福祉行財政と福祉計画 (S)	1 Q	小早川 俊哉	この授業はカリキュラム変更のため今回が最後になります。頂いた声は、他の授業にて活かさせていただきます。
福祉サービスの組織と経営	1 Q	大島 康雄	大学は教育の場ですが、卒業してから専門職として活躍できるように意識しています。今後もアクティブな内容を入れていきたいと思っています。
美術学概論Ⅰ	1 Q	竹内 美帆	パワーポイントのスライドを活用して、絵画などの図版を提示したり、図などを用いて抽象概念などを提示したことで、多くの学生にとって関心を持っていただけで良かったです。スライドの文字の大きさについての指摘がありましたので、来年度はもう少し文字の配分や大きさを工夫したいと思います。また、知識だけでなく、思考力を問うために、定期テストにおいて、記述問題の分量を増やすなどの工夫をしたいと思います。

建築環境 I	1 Q	佐々木 哲之	建築環境 I は単元ごと学生の理解度を確認しながら授業展開をしていくことが重要な科目であるアンケート結果は概ね満足できる結果であった。特にこの科目において重視している項目「内容は興味や関心を持てるものでしたか」においては7割がとても、充分と回答しており一応の成果が出た。
建築法規 I	1 Q	佐藤 善太郎	建築法規 I は、法律の一番最初の授業でもあるので、難解な法令用語に対してもアレルギーを起こさない様、時間をかけてかみ砕いて説明をしてきましたが、何%かの学生には届かなかったようです。今後は理解度の測りかたに工夫をしていきたいと思ひます。
経営学総論	1 Q	信濃 吉彦	講義スタイルや内容に関しては概ね高評価をいただいたので安堵しています。ノートの作成量を減らしてほしいとの意見が多数寄せられておりますが、削減するつもりはありません。
スタートアップ 演習(D)	1 Q	北嶋 洋一	教室の環境に合わせたスライドの作成が必要と感じた。授業の内容に余裕が無く、詰込みの間があったので、次年度は学生の意識を繋ぎとめる工夫と多少の遊びが必要と感じた。他、アンケート内容を踏まえて改善を試みることにしたい。
ソーシャルワークの理論と方法(専門) I	1 Q	大島 康雄	2年生にとっては初めての授業だったと思ひます。飽きさせないように工夫をしているつもりですがいろんな学生がいるので私としては何が正解か分からない時があります。皆さんの声に応えられるように工夫していきたいと思ひます。
地域福祉と包括的支援体制 I	1 Q	上原 正希	学生からの指摘に対しては改善し、対応をしていきたいと思ひます。
精神保健福祉の原理 II	1 Q	西野 克俊	満足度として、とても満足できた33%、十分満足できた40%、満足できた20%となっており、一定程度満足していただけた内容になっていると実感しました。意見として提示された、教科書の使用頻度を増やすと自動的に情報量も増えてしまうため、バランスをとることの困難さはありますが、工夫してみようと思ひます。また、定期試験は国家試験を意識したものとなっておりますが、授業内容に関しては現場の仕事を意識しているものの伝わりやすい工夫をしてみようと思ひます。
ソーシャルワークの理論と方法(専門)IV	1 Q	西野 克俊	満足度として、とても満足できた46%、十分満足できた54%となっており、一定程度満足していただけた内容になっていると実感しました。意見として提示されました、視覚教材についてはいいものがあれば活用していきたいと思ひます。
発達心理学 I	1 Q	蝦名 美穂	学生の皆さんの授業評価を踏まえ、発達心理学の基礎知識の教授の仕方と主体的に学ぶことのバランスを考えて、授業内容と方法を改善していきたいと思ひます。
保育原理	1 Q	吉江 幸子	1年次科目「保育原理」の授業を履修していただき有り難うございました。保育士の専門性、意義や目的に関する内容について、前週の振り返りも含めて講義を進めました。アンケート結果では、シラバス説明や資料・板書の活用等おむね満足の結果を頂戴しましたが、進み具合により早めに終わる時もありましたので保育技術を加えながら時間通りに進めていきたいと思ひます。改善コメントを頂戴し有り難うございます。
生涯学習概論 I (M)	1 Q	藤根 収	アンケート回答ありがとうございます。比較的高い評価をいただきましたが、理解度や満足度で若干要求に応えられなかった学生もおられるようですので、今後も学生の理解度に留意しつつ、分かりやすい授業づくりに努めてまいります。
生涯学習概論 I (S・D・A)	1 Q	藤根 収	アンケート回答ありがとうございます。比較的高い評価をいただきましたが、理解度や満足度で若干名ですが要望に応えられなかった学生もおられるようですので、今後も学生の理解の状況等に留意しつつ、分かりやすい授業づくりに努めてまいります。
特別支援教育総論	1 Q	堀川 厚志	回答数が少ないが、配布資料のわかりやすさについて1名が改善の必要性を指摘している。より一層一講義のポイントがわかるような資料づくりを進めたい。その他の内容については、今後も維持に努めたい。
視覚障害教育総論	1 Q	木村 浩紀	前半は眼の構造や眼疾患など医学的な内容を、後半は自立活動(点字や歩行、触察等)など視覚障害教育の専門的な内容を中心に行いました。指導場面の具体的や映像・スライドや体験的な内容等を通して、ある程度理解を深められたのではないかと考えております。
臨床心理学	1 Q	蝦名 美穂	授業の進め方について、今後検討したいと考えております。講義内容を絞ることで、受講者が主体的に考えることができるような構成を今後考えていきたいと思ひます。
障害児保育 I	1 Q	坂上 俊樹	授業にあまり興味をもてない学生にも、積極的に参加してもらえるような工夫が必要であることを痛感しています。遅刻の学生の扱いについて、ご意見はもっともと思ひます。今回、全体への周知は控えましたが、対象学生へは、個別に説明し評価に反映しました。遅刻の扱いについては、授業の最初に明確なラインを伝えることが必要であると思ひました。

人文地理学Ⅰ	1 Q	塩崎 大輔	アンケート回収率が低かったため、次回以降は授業アンケートの意義を説明し、アンケートへの回答協力を仰ぐようにする。回答結果に関しては、多くの項目において、評価がばらつく傾向にあった。これは内容的に高校地理と大学地理の学習内容・方法の違いが大きかったことに起因すると考える。そのため今後は、教科教育における地理と大学地理とをつなげ、スムーズに学習が進むようなカリキュラムを考える。
カウンセリング論 (M)	1 Q	蝦名 美穂	授業の進め方のスピードについては、計画した授業内容を終えることを重視してしまったために、学生さんの状況とマッチしていなかった可能性があります。この点については、今後授業内容を再検討することで、進め方のスピードを改善したいと考えております。
カウンセリング論 (S)	1 Q	蝦名 美穂	授業の進め方のスピードについては、計画した授業内容を終えることを重視してしまったために、学生さんの状況とマッチしていなかった可能性があります。この点については、今後授業内容を再検討することで、進め方のスピードを改善したいと考えております。
スクール・ソーシャル・ワーク論	1 Q	上原 正希	学生からの指摘に対しては改善し、対応をしていきたいと思っております。
子ども家庭支援論	1 Q	杉本 大輔	出席管理に課題が残った
社会的養護Ⅰ	1 Q	杉本 大輔	出席管理に課題が残った。遅刻、欠席の区別を明確にすることを痛感した。
音楽表現Ⅱ	1 Q	小黑 万里子	コロナ対策の中での授業でしたが、学生は明るく真摯な態度で授業に取り組んでいました。実技においては、まだまだ時間をかける必要がありますが、これからの努力を期待し、素晴らしい保育士としての基礎を身につけてほしいと思います。
インテリアデザインⅠ	1 Q	梅田 真紀	授業内容については、何をねらいとしているのか制作過程で意識できるよう配慮しました。結果、理解度が高まったと思います。改善点として、時間配分を調整することが必要かと思いました。
デザイン製図Ⅰ	1 Q	松岡 龍介	この科目は、将来、美術においては幾何学的な立体造形を創作するような事に興味のある学生や、プロダクトデザイナーやインダストリアル・デザイナーとして社会で活躍しようとする学生、あるいは、高校の美術教員（工芸）の教員として指導にあたることを希望する学生たちのための「最初の製図表現」の科目です。三面図や立体図、CG等の表現を学び、誰にでも判りやすい内容で、クラスの進度に合わせて基本的な内容を学びます。
デザイン製図Ⅰ	1 Q	松岡 龍介	この科目は、将来、美術においては幾何学的な立体造形を創作するような事に興味のある学生や、プロダクトデザイナーやインダストリアル・デザイナーとして社会で活躍しようとする学生、あるいは、高校の美術教員（工芸）の教員として指導にあたることを希望する学生たちのための「最初の製図表現」の科目です。三面図や立体図、CG等の表現を学び、誰にでも判りやすい内容で、クラスの進度に合わせて基本的な内容を学びます。
インテリアデザインⅠ	1 Q	松岡 龍介	本科目は、1年次に学んだ製図関係科目の1年間の総括として、学生各自の自室をコンベックスで測り、インテリア/建築の図面を完成させることを目的としている。この課題の特徴は、自らが住んでいる部屋を計ること、製図表現としての能力を向上させることのように思える。つまり、自らが見て、野帳にメモをして、平面図、断面図、室内展開図、天井伏図を描くことによって、インテリア空間を製図として再具現化することである。
東洋・日本美術史Ⅰ	1 Q	苫名 真	若い皆さんにはあまりなじみのない仏像や絵巻など古い時代の美術の話が中心だったにもかかわらず、とても熱心な姿勢で授業に臨んでくれたおかげで、私も非常に気持ちよくお話しすることができました。毎回冒頭に実施した作品に対する皆さんの感想もポイントを鋭く突いた内容が多く、授業にスムーズに入っていくことができました。最後までほとんど皆勤でお付き合いいただきありがとうございました。
子どもの保健	1 Q	宮崎 剛司	学生がより健康への重要性について理解してもらえるような授業を展開する計画です。これには、健康的な食生活や適切な運動、精神的な健康の保持など、健康の多面的な側面に焦点を当てる必要がありました。具体的には、現実の例を取り入れたディスカッション、実際に体験できる健康促進のワークショップなどを組み合わせます。また、学生自身が健康に対する自己認識を高め、日常生活での健康習慣の形成をサポートするためのガイダンスとリソースも今後は提供します。
建築計画Ⅰ	1 Q	安藤 淳一	授業後の学習にも重点を置き演習2を課題としていますが、当日の学びの中からさらに学びを深めてほしいとの考えでおこなっておりますのでご理解いただきたいと思います。授業内容は、情報量の大きさがPPのページ数に反映してしまっていますが、より精査し理解しやすいものに改善していきたいと思っております。
建築材料実験	1 Q	長森 正	授業改善アンケートのご協力ありがとうございました。理解度、満足度ともに80%以上の評価があり、実験を通して理解が深まったとの回答が多数ありました。また、班構成で実施した結果、仲間との交流が深まったとの回答もありました。みなさんの実験に臨む姿勢も良く、限られた時間の中でのご協力ありがとうございました。更に実験と座学との連携を通じて理解度が増すように努力します。

施工管理技士演習Ⅱ	1 Q	小笠原 健	今回のアンケート実施にあたり、学務課の不手際により、講義期間中にアンケートの実施ができず、低い回答率となったものの、回答結果によると、おおむね高評価のアンケート結果となっている。この講座は、三年生2Qの建築施工と3Qの建築生産の講義にて修得した知識をもとに翌年度の国家資格である二級建築施工管理技士補試験の合格を目指す講座である。今年度も13名が履修し、9名が合格しており、全国合格率37.7%を大幅に上回る69.2%の合格率を達成している。国家試験の合否はすべてが受験者の自己責任であるが、きちんと講義に欠席なく出席し、与えられたカリキュラムをこなすことが出来れば、ほぼ合格できる講義内容となっており、改善点はほぼ無いものと自負している。なお、全16回の講義にすべて出席している履修者で不合格者はいないことが、確かな実績であるものと思料する。
都市計画	1 Q	安藤 淳一	研究発表は、履修者数の関係で時間を割かざるを得ませんでした。研究の深度の差がはっきり出た内容になり、各自の学びの確認につなげられたと思います。授業内容の情報を見直しをしましたが、さらにわかりやすい、理解しやすいものに改善していきたいと思っています。
図学(建築図学を含む)	1 Q	長森 正	授業改善アンケートのご協力ありがとうございました。プロジェクターでの作図課程の解説が理解しやすいとの回答があり、理解度も80%程度ありました。一方で履修者が62名と大人数であり、後方での観ずらさの指摘もありました。その対応として、Teamsのファイルに図形をアップしたことはとても好評であり、他授業でも利用していきたいと思っています。理解しやすい授業構成のため、配布資料やプロジェクターの改善を進めていきます。
北国の建築と住まい	1 Q	安藤 淳一	学外の歴史的建築の見学会はコロナ禍前のように複数個所の見学が可能ないように対応していきたいと思っています。授業内容は情報量をさらに精査し、より分かりやすく表記できるよう改善したいと思っています。
建築構造力学Ⅲ	1 Q	小笠原 健	この「建築構造力学Ⅲ」の講座は、下級生で実施される「建築構造力学Ⅰ・Ⅱ」で修得する分野の上位レベルの学力の修得を目的としている。これは、建築構造力学Ⅰ・Ⅱでは、二級建築士試験レベルに対し、この講座では一級建築士試験の構造分野であり、建築の専門科目のなかで、最も難易度の高い分野と言える。よって、建築構造力学Ⅰ・Ⅱの範囲をある程度完璧に理解できていないと修得は難しい分野とも言える。毎年、この講座を開講するにあたり、受講者の多くが、この分野の基礎学力が不足しており、やむを得ず、建築構造力学Ⅰ・Ⅱの分野の復習を行いながら、この分野の修得も行っている。しかしながら、基礎学力不足の学生にとっては、かなり難解な講義であるものと思われる。結果的に、アンケートでは、ある程度の高評価を得ており、定期試験の結果でもかなりの学力のレベルアップに成功している学生も多く見受けられることから、引き続き、この授業スタイルを継続していきたいと考えている。なお、下級生時の建築構造力学Ⅰ・Ⅱの講座では、一定レベルに達しない学生にまで安易に単位を与えることなく、ある程度の実力レベルの向上にご尽力いただきたいと思料する。
マーケティング論	1 Q	鈴木 重政	全体に学力の極端な低下が感じられ、授業に集中できない学生が見受けられた。したがって優れたマーケティング事例を『自慢話』と誤解する学生がいたのは残念である。成績の2極化がみられることは学生の質の低下が原因と考えられる。
コミュニケーション論	1 Q	山本 一彦	全般的には良好なアンケート結果と受け止めたが、関心度理解度をより高める工夫の必要を感じた。大人数になる科目でもあるので、今後も意欲ある学生のための受講環境維持に注意したい。
ビジネス創造論	1 Q	阿部 裕樹	ビジネスは思いつきやアイデアだけでは成果を上げることはできず、事業を運営するためには様々な知識・ノウハウが必要であることの理解に重点を置き授業を進めてきました。毎回、異なるテーマで講義を行い、学生が飽きないように授業の鮮度を維持することに留意しました。今後もDXの要素を取り入れ最新のテーマにも触れつつ、ビジネス創造の基本となる知識の理解を図れるようにしたいと思っています。
原価計算論	1 Q	鈴木 重政	この科目を20年以上担当しているが、今年度は学生の理解力の低下を感じた。したがって授業は復習に充てる時間が長くなり、全体として浅い内容となったのは残念である。成績の2極化が見られるが、外国人留学生の成績は日本人学生よりも概して優れていた。
商法	1 Q	青山 浩之	第1クォーター木3講目 金1講目の科目で、履修者117名、平均出席率79%、回答率18%であった。アンケート実施の指示を口頭のみで実施し回収率が極めて低くなった。設問4・5「資料・教材」は好評価を受けました。設問7「興味関心」10「満足度」では、好評価をいただきました。回答数が少ないが例年同様の結果であった。設問8「理解度」は好評であったが、例年以上に試験の点数が悪かったため、今後は理解を深め答練などを行い、興味を持てるように努力したい。
体育史	1 Q	尾西 則昭	評価ありがとうございます。皆さんからいただいた評価を次年度に向けて教育実習や現場で活用できるように引き続き、工夫と改善に努めていきます。

ホタルマネジメント論	1 Q	五ノ井 壽一	マイクの利用等も含め、より授業に興味を持ち、理解を高めるように創意・工夫・努力いたします。
経営分析論	1 Q	石山 玄幸	経営分析論は、現3年生のスポーツマネジメントコース以外の学生が必修講義となっています。さらに、昨年度の財務会計論の単位を取得したものでなければ受講ができなくなっています。会計科目が苦手な学生にとってはハードルの高い講義ですが、経営学科に所属しているので、このレベルの講義は理解して欲しいというのが正直な想いです。
経営分析論 (SP)	1 Q	石山 玄幸	経営分析論は、現3年生のスポーツマネジメントコース以外の学生が必修講義となっています。さらに、昨年度の財務会計論の単位を取得したものでなければ受講ができなくなっています。会計科目が苦手な学生にとってはハードルの高い講義ですが、経営学科に所属しているので、このレベルの講義は理解して欲しいというのが正直な想いです。
国際経営論	1 Q	岡島 徳昭	学生がより積極的に授業に参加できるよう工夫したい。(パワーポイントの活用・小テストの実施等)
産業社会論	1 Q	山本 一彦	アンケート結果からは、板書表記等は受講者によく理解されていたと思われる。今後は、可能な限り学生の受講満足度を高めるよう、事例等の提示に工夫をしたい。
ビジネス英語	1 Q	石田 暁子	少人数の理想的なクラスで授業ができました。勉強の成果が試験結果に表われている学生が多く、期待以上でした。
地域情報論	1 Q	猪尾 紀幸	授業中の表示資料については、Teamsへのアップが遅くなってしまった点、表示資料をめくるスピードについても考慮して次回は実施していきます。授業内容については、引き続き地方自治体の取組みを最近事例を踏まえながら学生が興味関心を持てるよう更新していきます。
スポーツ原理	1 Q	高井 雅一	授業内容に興味関心を示していただいた学生が多くいた半面、十分理解できた学生が過半数いたが、理解できなかった学生が7%いました。配布プリントの見直し、理解度の確認をしながら次年度実施していきたい。
スポーツビジネス論	1 Q	鈴木 重政	この科目を10年以上担当しているが、今年度は受講態度および理解度に低下減少が見られた。
スポーツビジネス論 (SP)	1 Q	鈴木 重政	この科目を10年以上担当しているが、今年度は受講態度および理解度に低下が見られた。
器械運動	1 Q	廣田 修平	保健体育教諭の中でも苦手意識を有する人が多い「器械運動」について、学習者自身が「できない」から「できる」を数多く経験することで、学習方法の多様性やより良い高みの「できる」を目指すための評価指標を実践的に学んでもらえたと考えております。授業実施回数や時間の都合上、納得のいく技能レベルまで習得できなかった技もあると思いますが、履修者全員、基本的な「器械運動」の運動構造の捉え方、学習方法提供の考え方、実施者の運動感覚の重要性の学習の到達度目標は達成できたと考えます。
社会学概論	1 Q	松下 守邦	中学社会、高校公民系免許科目であることから授業内容を高校公共の学修内容を踏まえた授業カリキュラムとなりますが、非教職系の履修学生にむけた内容リクエストがありました。高校公共(現代社会)は、社会事象の基礎理解であることから、専門書(新書)精読作業のなかで授業構成の工夫をすすめてまいります。
アグリビジネス論	1 Q	石山 玄幸	アグリビジネス論は、経営学からは少し離れた科目に思えますが、実際、経営学の視点から農業を見ると、いろいろなことに気づきます。最終試験では、各学生が農業という産業を今後どうすべきかという意見が述べられていました。当該講義で学んだことを、ぜひ就職活動に役立ててください。
教職論	1 Q	木村 浩紀	教職論は教師になるために必要な知識や心構えなどを学ぶものですが、各回のテーマについてレポートを作成し、その一部(全受講者分)を紹介することなどで、理解を深められるように心がけてきました。多くの方に理解していただくことができて良かったです。
教育原理 (M・D・A)	1 Q	西崎 毅	「授業満足度」は、「満足した」以上が95/94% (社会福祉学科以外/社会福祉学科)、「熱意」は、「そう思う」以上が95/94%、「教材の適切さ」は、「適切だった」以上が95/100%でした。「先生がとても熱意を持って授業を行っていて、実際に現代の教育に必要とされている事を交えて授業をしていてとても分かりやすかったです。」「私語をすぐ注意してくれて、授業の説明や他の人の発表が聴きやすくてとても良かったです。」「意見を発表する機会があったおかげで、かなり人前で話すことができるようになったなと感じています。」「グループワークが多く、与えられた課題について協同して取り組むことができた。資料も分かりやすく、説明も丁寧だったので内容がよく理解できた。」等の評価を励みに一層の改善に努めます。

教育原理 (S)	1 Q	西崎 毅	「授業満足度」は、「満足した」以上が95/94% (社会福祉学科以外/社会福祉学科)、「熱意」は、「そう思う」以上が95/94%、「教材の適切さ」は、「適切だった」以上が95/100%でした。「先生がとても熱意を持って授業を行っていて、実際に現代の教育に必要とされている事を交えて授業をしていてとても分かりやすかったです。」「私語をすぐ注意してくれて、授業の説明や他の人の発表が聴きやすくとても良かったです。」「意見を発表する機会があったおかげで、かなり人前で話すことができるようになったなと感じています。」「グループワークが多く、与えられた課題について協同して取り組むことができました。資料も分かりやすく、説明も丁寧だったので内容がよく理解できた。」等の評価を励みに一層の改善に努めます。
----------	-----	------	---